

2022年は、どんな年になるのでしょうか？

年の暮れに1年を振り返る時、人にはそれぞれ営みがあり、心に残ることも人によって様々であった筈だった。しかし2021年は、2020年に続くコロナ感染症で明け、コロナ感染症で終わろうとしている。自分の力ではどうにもならなかった事も多かったように思う。一大イベントだった東京オリンピック・パラリンピックも記憶が薄れてきている。普通の日常さえもが懐かしい。といっても時間は止まってくれない。

先日の地域デビュー歓迎会の講演で、菅原育子さん※は、最近では5歳若返ってきていると言われていた。コロナ禍でも、一人一人が健康に気をつけて心身共に努力しているからだと思われる。来年は、コロナにも負けず、加齢にも負けず生き抜こうと思う。皆様にとっても良い年になりますように・・・ ※東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員

ローカル5Gを活用してトマト栽培。そのトマトを若葉小の給食に提供

環境問題や脱炭素社会など社会的課題の解決を目指して、調布市、電気通信大学、アフラック生命保険(株)、調布市地域情報化コンソーシアムは今年6月に「調布スマートシティ協議会」を設立した。コロナ禍の今夏、駅前広場のワクチン接種会場でCO₂の濃度を可視化する作業を電気通信大学の教授の指導で行なったのが最初の取り組みである。今回は実証実験の2回目である。「新しく協議会の会員になってもらったNTT東日本にも参加してもらい市、教育委員会、NTT東日本、関連会社である(株)NTTアグリテクノロジーの連携によるデジタル農業に対応した食育の推進プロジェクトとして実施しました」(行政経営部企画経営課の伊藤宏課長)。NTTアグリテクノロジーは農業×テクノロジー×街づくりを掲げる会社として2019年7月に創立された。

11月16日(火)に行われた今回の実証試験では、市内のNTT中央研修センター内に設置された約500平方メートルのビニールハウスで栽培されたトマトを市立若葉小学校の児童が給食で食べるという試み。ハウス内のトマト栽培は地域や施設を限定してつなぐ超高速の「ローカル5G」で、約20^{km}離れた立川市の都の関連団体「都農林水産振興財団」で映し出され、農業の専門家が遠隔地から栽培をコントロールする。「4Kカメラで撮影したトマトの生育ぶり、例えば葉の裏側や病気なども克明に映像で示されます。いつでも専門家の指導を受けられるので農業の初心者でも農作業が出来ますね」とNTT関係者が説明。頭に眼鏡型のスマートグラスを付けて作業する栽培スタッフの服部三平さん(73)は「今までは家庭菜園を楽しむ程度でしたが、プロの指導を受けてトマトを栽培できるようになりました」と話す。ハウスでは農業用ロボットも活躍。

若葉小学校では児童がタブレットを持ち、栽培状況を動画で視聴。市が進めるデジタル化に対応する食育の取り組みとして、児童が給食でトマトを食べる様子も報道陣に公開された。「トマトは甘くて美味しかった。農業への関心も高まった」などと6年生が口ぐちに話していた。最先端技術を使った農業と給食を組み合わせた実験は市の新しい取り組みとして注目されるだろう。(大泉 清)

【FC 東京応援記】(日比生)

長谷川健太監督がシーズン3試合を残し、マリノス戦の翌日に辞任した。0-8の大敗後だった。2021年は延期されていたルヴァン杯決勝を新年早々に制し、新シーズンはリーグ優勝を目指すと高らかに宣言もした。しかし、その期待の大きさと、現状とのギャップをチームもファン・サポーターも抱え続けた1年間だった。健太監督では絶対に強豪になれないとFBへ投稿されたりもした。チームの浮沈の責任を一身に背負う監督のメンタルは強靱でもあり、時にガラスのように脆い。今はゆっくり休んでください。数々の思い出をありがとうございました。

ちょびット

調布社協 インフォメーション

No.4

障害者地域活動支援センター

ドルチェでは、障がいのある方や障がい者団体による作品展や活動発表の場として、土曜ドルチェ「みんなで作る 冬の作品展2021」を開催します。

期間は12月13日(月)午後1時~3時、15日(水)~18日(土)午前10時~正午と午後1時~3時、場所は総合福祉センター4階視聴覚室にて行います。みなさまどうぞご覧ください。



2021年12月 番組表

＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞



◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

月	火	水	木	金	土	日
8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25

テレビ番組

1日
～
15日

①第66回調布市民文化祭のテーマは「明日へ響け 文化の鼓動」
コロナ感染拡大防止策のため関係者のみで行われた開会式で始まり
いけばな展、奇術発表会、市民囲碁大会、工芸美術展など、最終日には
バレエ・フェスティバルとそれぞれの会場が盛り上りました。



16日
～
31日

①第39回調布市民スポーツまつり:味の素スタジアムで元気一杯の
チアダンスでスタート!数々のスポーツ教室が開設され、大人も
子どもも一緒になって、楽しそうにスポーツにチャレンジしました。
②第26回日本語で話そう会:去年はオンラインでの発表会でしたが、
今回は対面で行い、学習者は慣れない日本語で元気に発表しました。
③府中・調布・三鷹ラグビーフェスティバル2021:コロナ感染防止のため申込者200名が招待され
た開会式は3市長と共にラガマル君も登場。客席からは大きな拍手が送られました。
④ゲゲゲ忌:調布市名誉市民 水木しげるさんの命日イベント「ゲゲゲ忌2021」が開催され、調
布駅前広場では数々のイベントが行われ、会場は多くの家族連れでにぎわっていました。



「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)

調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに!

ラジオ

月	放送日	内容	ご紹介
12月	6日(放送) 13日(再放送)	宮本苑生監修 詩の世界 勝嶋啓太詩集の朗読	勝嶋啓太(かつしまけいた)詩集『今夜はいつもより星が多いみたいだ』から抜粋してお送りします。朗読:あきのめぐみ
	20日(放送) 27日(再放送)	朗読「郷土の歴史と伝承」 調布市郷土博物館 関口宣明著	「郷土の歴史と伝承」第4回は、『調布の雨乞い』、『病と信心』です。朗読:峯田里香子

HP

新型コロナウイルスの影響で、家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見ませんか!
インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP)

(すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)

(すべての番組2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



【公式HP】



【アーカイブサイト】



【フェイスブック支局】



宅配業者を装う男の電話に注意 息子さんの名前を教えて

特殊詐欺が11月に多くなった。年末の12月には更に増えることが予想される。宅配業者やデパート店員を装い「伝票がにじんで息子さんの名前が読めない。正確な名前を教えて欲しい」と言って個人情報を引き出す。調布警察署(電話042-488-0110)は「お金と還付金の話が出たら詐欺です」と注意喚起。

電気ストーブを安全に使いましょう 燃えやすいもの周りに置かない

電気ストーブなど暖房器具からの住宅火災が多くなる季節。これを防ぐには
①電気ストーブの周りに燃えやすいものを置かない②ストーブの上に洗濯物を干さない③寝る前や外出前には必ず消すなどを忘れずに。調布消防署(電話042-486-0119)は「住宅火災を防ぐためにも電気ストーブは安全に使いましょう」と呼び掛け。



＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ メール catch@chofu-catch.sakura.ne.jp ☎ 070-5576-1429

郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2 階 市民活動支援センター 1 階

【編集・発行】NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14